

第 32 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 4 年 4 月 15 日（金曜）		午前 9 時 30 分 開会
	休 憩		
会 議 場 所	委員会室<オンライン出席者 (O) >		
出 席 委 員 氏 名	委員長	中村 和宏	委 員 渡辺洋一郎
	副委員長	正村紀美子	委 員 黒田 栄継
	委 員	鈴木 健充	委 員 常通 直人
	委 員	中田智恵子	
欠 席 委 員 氏 名			
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名			
事務局職員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	総務係主査 上田瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

ア 令和 3 年度白樺高校との連携協定事業（1 学年）の総括について

資料 1

イ 令和 3 年度芽室高校との意見交換会の総括について

資料 2

ウ 議会基本条例等（令和 3 年度活動分）議員評価結果（課題抽出／評価集計）について

資料 3

エ 令和 3 年度議会活性化計画主要事業等取組評価について

資料 4

オ 議会ホットボイスについて

資料 5

カ 第 2 回モニター会議の開催について

当日資料 6

キ 議員定数と報酬のあり方について

資料 7

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程（予定）について

(2) その他

2 議 件

ア 令和 3 年度白樺高校との連携協定事業（1 学年）の総括について

資料 1

- ・常通委員：資料説明<事業目的、日程・対象者、実施内容、振り返り（学校・議会別）、今後に向けて（学校・議会別）、総括>。総括としては、1 学年で予定した議

場体験がコロナの影響で実施不可となったことから、この実現を含めた事業継続に向けて、新年度事業を双方で協議することとした。

- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明内容を総括とし、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

イ 令和3年度芽室高校との意見交換会の総括について 資料2

- ・常通委員：資料説明＜事業目的、日程・対象者、振り返り（学校・議会別）、今後に向けて（学校・議会別）、総括＞。総括としては、学年やクラスという大人数ではなく小さな単位（新聞局・生徒会等）でも事業の継続を目指して、双方で協議することとした。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：説明内容を総括とし、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

ウ 議会基本条例等（令和3年度活動分）議員評価結果（課題抽出／評価集計）について 資料3

- ・総務係長：資料説明（資料「3-1」自己評価結果からの課題抽出及び資料「3-2」自己評価結果評価集計）。「3-2」の特徴はP11「議員研修の充実強化」に数多くの意見が寄せられたこと。「3-1」はほぼ前年同様。分析を総じて言えば、主要事業の成果3項目について、改善の余地は依然として継続していることを示唆している。これを踏まえて、この後議論いただく「R3活性化計画主要事業の評価」に連動させていくことになることを申し添える。
- ・委員長：質疑はないか？
（質疑なし）
- ・委員長：報告内容について、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

エ 令和3年度議会活性化計画主要事業等取組評価について 資料4

- ・正村委員：資料説明（主要3項目の評価結果、新規活性化6事項の評価結果）。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・黒田委員：議員評価結果も踏まえ、評価結果に賛成する。「完了」と評価した事項についても、これで終わりということではなく、より充実を図る意図を含めた意思を含むことで了と考える。
- ・委員長：他にないか？
（質疑なし）
- ・委員長：提案どおり決定し、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

オ 議会ホットボイスについて 資料5

- ・総務係長：前回議運（4月5日開催）での決定に基づき、総務経済常任委員会（4月13日開催）で作成した回答について協議する。なお、回答案に係る付帯意見と

しては、「議会報告と町民との意見交換会総括報告書」へのスキースクールとの意見交換会結果が掲載されるのであれば、回答案です。掲載されないのであれば、意見交換会要旨を回答に記載することとなっている。

- ・委員長：質疑はないか？
- ・常通委員：総括報告書の体裁が決まるのはいつか？
- ・総務係長：議運で決定することになるので、この場で協議することになる。
- ・常通委員：例年通りの体裁とすべきと考える。
- ・渡辺委員：私も前年同様で賛成する。よって、回答案はこれで良いと考える。
- ・黒田委員：私も同様の考えである。関連事項となるが、今年度、議運が取り組んだ意見交換会の総括のバージョンアップとして、政策形成サイクルを意識した「今後の展望」を両常任委員会でもとめた。その「まとめ」が総括報告書にどのように反映させるかは、別途、協議・議論すべき事項と整理したい。
- ・委員長：この場では、スキースクールの意見交換会の結果を総括報告書に掲載することとし、回答案は提案どおりとする。異議ないか？
- ・（異議なし）
- ・委員長：総務経済常任委員会の作成した回答で決定し、「取扱基準」に基づき、回答書を通知し、内容を公開する。

カ 第2回モニター会議の開催について 当日資料6

- ・事務局長：前回議運で協議したとおり4月25日に実施する。なお、モニターの出欠状況は、本日時点17人中10人出席（役場：4人、オンライン：6人）、4人欠席、3人未定となっている。一両日中に出欠を確定させ、次回全員協議会（4月20日）でグループ編成を確定し、全議員の共通認識を図る流れとなる。なお、会議資料はクラウドの「第2回モニター会議」に保存し、全議員参照可能としている。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・黒田委員：議論するにはひじょうに限られた時間となる。議論の進め方について、ポイントを絞るか、また、自由な意見をいただき、それに答えていくかなど、議運内で一定の共通認識を図っておく必要はないか？また、今回（4月25日）ともう1回（6月予定）の会議の目的も整理しておくのと良いと考える。
- ・正村委員：御意見のとおり、その整理は必要である。今回（4月25日）は自由意見をいただくことを基本として、また、議会内で協議・共有した項目別基本事項の5（常任委員数、委員会数、議員定数、政務活動費、費用弁償）まで、次回は6（報酬と期末手当）を含めてとして、自由に意見をいただく共通認識で取組むこととしたい。
- ・黒田委員：議会内で協議・共有した事項と、モニター会議で議員が説明・答弁する内容に「かい離」がないように、何らかの議会内での共通認識を図って臨むべきと考える。
- ・常通委員：次回、全員協議会（4月20日）でその旨、議運委員長から全議員に情報共有し、モニター会議に臨むことが良い。
- ・委員長：他にないか？

(質疑なし)

- ・委員長：説明内容に基づき、取り進める。

キ 議員定数と報酬のあり方について 資料7

- ・事務局長：前回議運（4月5日）の議論を踏まえて、改めて整理した。朱書箇所について協議をし、決定したい。なお、決定後、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図り、5月からは、次の協議項目の「報酬のあり方」の議論に進みたい。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・正村委員：異議ない。
- ・委員長：他にないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：協議の内容で決定し、次回全員協議会（4月20日）で共通認識を図る。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

- ・4月26日（火）9時30分から

(2) その他

- ・委員長：委員各位から「その他」はないか？
- ・(なし)
- ・委員長：議長からないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・事務局長：2点共有する。研修（4・5月）と軽装推奨月間についてである。研修は4月25日に議員会主催、5月20日に議会費執行により、いずれも議場で開催する。また、軽装推奨月間については、町長部局の決定では5月から10月となった。このことから、次回の全員協議会（4月20日）で共通理解を図りたい。
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・正村委員：軽装推奨月間については、町長部局に併せて取り組むことで良いと考える。
- ・委員長：異議ないか？
- ・(異議なし)
- ・委員長：以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	1名	議員	0名	合計	1名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年4月15日

議会運営委員会委員長 中村和宏